

# 2014 NPO STARS ドイツ視察研修報告書（概要）

報告者 ミュンヘン臨時特派員H

日程	2014年10月14日（火）～10月19日（日）
場所	バイエルン州ミュンヘン（ドイツ連邦共和国）およびザルツブルグ（オーストリア共和国）
参加者	13名（太田夫妻・越川夫妻・側垣夫妻・曹・坂井夫妻・麻生夫妻・田中・春田）
視察先	SKF ミュンヘン（女性の保護・支援団体）、ハウスカロリーナ（母子生活ハイム）

## SKF の概要について

### 沿革

1899年、アグネス・ノイハウス（1854年ドルトムント生）により、女性の保護・支援を行う団体グッドシエパードが設立され、幾度かの名称変更や事業の統合を経た後1968年にSKFに名称変更。ミュンヘンでは、1906年から事業開始。

### 事業概要

女性の保護・支援、児童・青少年支援を事業展開の柱としており、母子家庭、ホームレス、犯罪者、未婚の母など対象は多岐に渡る。4ヶ所の母子のケアハイムをはじめ、教会や保育所の設置、妊婦や青少年へのカウンセリング、ドイツ語教室や料理・性教育など、幅広い事業展開を行っている。また、施設内ケアがうまくいかない場合に備え、里親の開拓や支援を積極的に展開している。ミュンヘンでは、約270名のスタッフを抱え、そのうち約200名のボランティアにより活動が支えられている。年間約6500件の相談等業務を行い、約3500名のクライアントを抱えている。宗教や国籍に関係なくサポートを行うことが特徴である。①その人の人生を中心とした考え方で、②どのような人でも才能があり、その人の個性を引き出すサポートを行うことが法人の理念として謳われている。



←法人内で記念撮影

ハウスカロリーナの  
中庭で記念撮影→

## 母子生活ハイム「カロリーナ」について

### 概要



SKFがミュンヘンで開設する母子のケアハイムのひとつである。ここでは現在、10名の女性が入所し、それぞれ1人ないし3人の子どもと共に暮らしている。独立したアパートの形態である。入所期間は1～2年程度。生活に係る経費は少年局から支給されている。

### スタッフの体制

4名の社会教育者小児専門の看護師1名、家政関係の職員1名、小児心理学の専門家1名が勤務する。

### 取り組み内容

ハウスカロリーナでは、曜日ごとに決められたプログラム活動（グループトレーニング）を通し、子育てに関する知識や技術、生活全般に関すること（お金の配分の仕方、買い物、調理、食品の保存方法、洗濯の方法、母自身の健康維持など）を学ぶ。このような活動により、母親の自己覚知を促し、同時に、職員は母親のアセスメントを行っている。

